



\*~\*.....\*~\*  
**▼△危険です！運転中の「ながらスマホ」、違反すると一発免許も！△▼**  
\*~\*.....\*~\*

ちょっとぐらいならいいだろうと、携帯電話を手を持った状態での通話や、メールチェックのために携帯電話の画面を注視するなどの「ながらスマホ」をしていませんか？

携帯電話使用等に起因する交通事故は、改正道路交通法が令和元年12月に施行されたなどを背景に、令和元年の2,645件から令和2年は1,287件と、大幅に減少しました。

しかし、令和3年以降、携帯電話使用等に起因する交通事故は増加傾向にあります。特に、全死亡事故に占める携帯電話等使用中死亡事故の割合は大きく増加しています。令和5年の死傷事故に占める死亡事故の割合は、携帯電話等を使用していた場合は、使用していない場合と比較して約3.1倍となっています。

●**運転中の「ながらスマホ」に対する罰則は？**

自動車及び原付などの運転中の「ながらスマホ」は、道路交通法で禁止されています。

- ・携帯電話を持って通話する
- ・携帯電話の画面を注視する
- ・カーナビの画面を注視する

運転中の「ながらスマホ」などに対する罰則等は、以下のとおりとなります。

- ・携帯電話を保持して通話したり画像注視したりした場合（保持）

【罰則】「6月以下の懲役」又は「10万円以下の罰金」

【反則金】普通車の場合：18,000円

【違反点数】3点

- ・携帯電話の使用により事故を起こすなど交通の危険を生じさせた場合（交通の危険）

【罰則】「1年以下の懲役又は30万円以下の罰金」

【反則金】非反則行為となり、罰則が適用されません。

【違反点数】6点（免許停止処分の対象）

●**「ながらスマホ」による交通事故の発生状況**

運転中にスマートフォンの画像を注視するなどの携帯電話使用等に起因する交通事故は、携帯電話使用等の罰則等を引き上げた改正道路交通法が令和元年12月に施行されたことなどで、令和2年は1,287件となり、令和元年の2,645件と比較し大幅に減少しました。

しかし、令和3年1,394件、4年1,424件、5年1,490件と、携帯電話使用等に起因する交通事故は増加傾向にあります。

特に、全死亡事故に占める携帯電話等使用中死亡事故の割合は、令和2年の0.83から令和5年は1.62と、大きく増加しています。

●**ながらスマホの危険性！**

「運転中にスマホを見たり操作したりするといっても、ほんの一瞬なら大丈夫」と考えているなら、それは大きな間違いです。わずかな時間でも、スマホに気を取られ、前方の安全確認がおろそかになって、悲惨な交通事故につながる危険性があります。

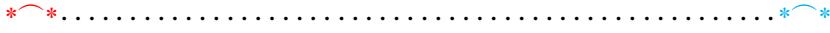
時速40kmで走行する自動車は1秒間に約11m進み、2秒間では約22m、時速60kmで走行する自動車は1秒間に約17m、2秒間では約33m進みます。

「ほんの一瞬だから」という間違った考えで、運転中にスマホや携帯電話を操作したり画面を見たりすることは、絶対にやめましょう。その一瞬の間に、交通事故を起こしてしまうことがあります。

令和5年の死亡事故率（死傷事故に占める死亡事故の割合）をみると、携帯電話等を使用していない場合は0.82であるのに対し、使用していた場合は2.55と、約3.1倍となっています。

運転中にスマホ等を使用しなければならないときは、必ず安全な場所に停車してからにしましょう。

なお、スピーカーを使ったハンズフリーでの通話は道路交通法違反にはなりませんが、通話に熱中しすぎると、運転に関する行為がおろそかになり、安全運転義務違反になる可能性があります。ハンズフリー通話は緊急時など最小限にとどめ、通話はやはり車を停めてからにするのが安全です。



## ▼△日ごろの備えから災害時まで～防災情報の総合窓口「防災ポータル」の登録を！△▼



日本は美しく豊かな自然に恵まれています。同時に自然災害が多発する国でもあります。もし様々な防災関連のウェブサイトを「お気に入り」に登録するとしても、地震や津波、大雨や台風、竜巻・突風や火山噴火…いくつも登録しなければならないのか…とってしまいます。

そんな方には国土交通省が開設した「防災ポータル」に登録しておくことをお勧めします。

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/olympic/index.html>

「防災ポータル」を入りにすれば、様々な自然災害や事前事後に役立つウェブサイトやアプリに簡単にアクセスできます。

### ◎「防災ポータル」の特徴

「防災ポータル」では、国土交通省や各関係機関、地方公共団体などの防災・災害情報を一元化し、■日頃から知ってほしい情報■と、■災害時、見てほしい情報■に整理されています。

スマホでも見やすく、英語や韓国語、中国語など多言語対応のあるサイトはそれについても表示しています。

まとめられたサイトの多くは、日本の広い範囲をカバーしているので、例えば旅行先で災害情報を知りたいときなどにも安心です。

また、「鉄道各社の状況」では、JRと全国の主要私鉄の情報を、「災害時における通行可否の情報（通れるマップ）」では、全国の主な道路の情報を確認することができます。

### ■日ごろの備えに役立つ情報は？■

「日頃から知ってほしい情報」では、災害が発生する前に知っておきたい防災知識や平時からの防災対策に役立つ情報を次のような4つの分野に分けてまとめています。

#### ●被害想定

起こりうる自然災害について、想定される被害状況やハザードマップ等を見ることができます。

#### ●身の守り方

災害の基礎知識や、災害時に身を守るための知識を見ることができます。

#### ●路線情報

バス・鉄道の路線図を見ることができます。

#### ●私たちの取組み

国土交通省等が取り組む災害対策などの情報を見ることができます。

### ■災害が起きたときに役立つ情報は？■

「災害時、見てほしい情報」には、災害の状況や気象状況、交通・物流状況、逃げるために必要な情報、安否確認など、災害時に役立つサイトを8つの分野に分けて案内しています。

#### ●被害状況

リアルタイム情報や速報等により、災害発生後、いち早く被害の状況を見ることができます。

#### ●気象状況

台風などの気象情報のほか、国土交通省等による雨量や河川の水位などを見ることができます。

#### ●逃げるための情報

避難所等の防災施設を検索できます。

#### ●交通・物流状況

交通規制等の道路交通情報や鉄道・航空各社の運行情報、物流会社の配送状況を見ることができます。

#### ●被災者支援情報

避難所や防災センターの基礎知識、行政の防災情報、防災施設を検索できる防災マップ、多言語生活情報などを見ることができます。

#### ●安否情報

災害用伝言サービスや安否情報検索サービスから、知人の安否情報を見ることができます。

#### ●ライフライン情報

最新のライフライン状況（電気・水道・ガス・通信）を見ることができます。

#### ●地域の情報

地方整備局・地方運輸局・都道府県・Xによる地域の情報を見ることができます。

もしもに備え、すぐに防災・災害情報にアクセスできるよう、スマートフォンやPCなどのブラウザの「お気に入り」に「防災ポータル」に登録しておきましょう。

国土交通省「防災ポータル」

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/olympic/>